

ロイヤント™ 乳剤

Rinskor™ active

水稲用除草剤

•すばやい効果発現

効果が早く現れるので、安心して他の作業に集中できます。

•5葉期のノビエと大きな広葉雑草に優れた効果

散布適期の幅が広く、生育の進んだ雑草※を取りこぼしません。

•散布2時間後の雨でも効果を発揮

もしもの雨でも再散布の必要がなく、計画通り作業を進められます。



理想の水田管理を、
あなたに。

※草種によって防除できる大きさは異なります。





水稲用除草剤

■適用雑草と使用方法

作物名	適用雑草名	10アールあたり 使用量	使用時期	使用方法	総使用回数
移植水稲	一年生広葉雑草及びノビエ、 マツバイ、ミズガヤツリ、 ウリカワ、セリ	薬量：200mℓ 希釈水量：100ℓ	移植後20日～ノビエ5葉期 但し、収穫45日前まで	落水散布、 ごく浅く湛水して散布又は 湛水散布	本剤：2回以内 フルルピラウキシフェン ベンジル：3回以内
	アゼガヤ、オモダカ			落水散布又は ごく浅く湛水して散布	
直播水稲	一年生広葉雑草及びノビエ、 ミズガヤツリ、ウリカワ、セリ		稲3葉期～ノビエ5葉期 但し、収穫45日前まで	乾田・落水状態で 雑草茎葉散布又は全面散布	

■上手な使い方

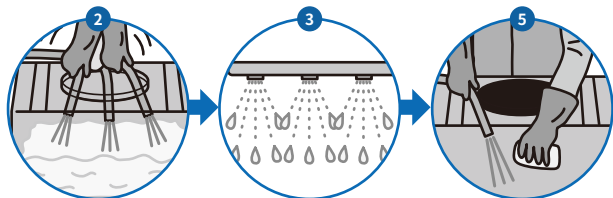
- 初期剤または一発処理剤との体系で使用してください。
- ホタルイ、クログワイ、コウキヤガラなどには効果が劣るので、有効な除草剤と組合せて使用してください。
- 展着剤は加用しなくても十分な効果があります。
- 土壌水分が少ないと効果が十分に発揮されないことがあります。乾田または落水状態で散布した際は早め(3日以内)に入水してください。
- 幼穂形成期以降の散布では葉先の黄化や止葉の下垂が見られる場合がありますが、収量に対する影響は認められておりません。

■ドリフト防止と散布器具の洗浄方法

- 散布時は、周辺作物に薬液が飛散しないよう十分注意してください。
- ロイヤント乳剤を使用した散布器具は、使用後速やかに以下の手順で十分に洗浄してください。散布器具内に残った薬液は、他の作物に影響を与えることがあります。

- 1 使用残りの薬液が生じないように調整し、使い切る。
- 2 タンク内壁を念入りに洗浄しながら、タンク容量の10%以上の水をためる。
- 3 ホース、ノズルから洗浄水を排出する。
- 4 ②、③の作業を3回以上繰り返す。
- 5 散布器具の外部を丁寧に洗浄する。

※詳しくは別途配布の「使用時のお願い」をご参照ください。



⚠ 使用上の注意

- 使用量にあわせて薬液を調整し、使いきってください。
- 散布液は使用当日に調整してください。
- 前処理剤との体系で使用し、雑草の発生状況をよく確認し、時期を失しないように適期に散布してください。
- 散布する際は、薬液が雑草に十分かかるような状態にして、水の出入りをとめ、まきむらのないように均一に散布してください。
- 散布は噴霧状に行い、薬液が雑草全体によくかかるようにしてください。
- 散布後7日間は降雨の有無にかかわらず落水、かけ流しはしないでください。
- 多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布するように注意してください。ミズガヤツリは草丈25cmまで、ウリカワは6葉期まで、セリは増殖期まで、オモダカは矢じり葉3葉期まで、また、アゼガヤ(一年生雑草)は草丈30cmまでに散布してください。
- ホタルイ、クログワイ、コウキヤガラには効果が低いので、それら雑草が混在する圃場ではそれらに有効な剤と組み合わせて使用してください。
- 薬害のおそれがあるので重複散布をさけてください。
- 薬害を生じるおそれがあるので、周辺作物にかからないよう十分注意してください。
- 下記のような条件では薬害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。
 - ① 砂質土壌の水田および漏水田(減水深2cm/日以上)
 - ② 軟弱な苗を移植した水田
 - ③ 極端な浅植の水田および浮き苗の多い水田
 - ④ 稲の根が露出している水田

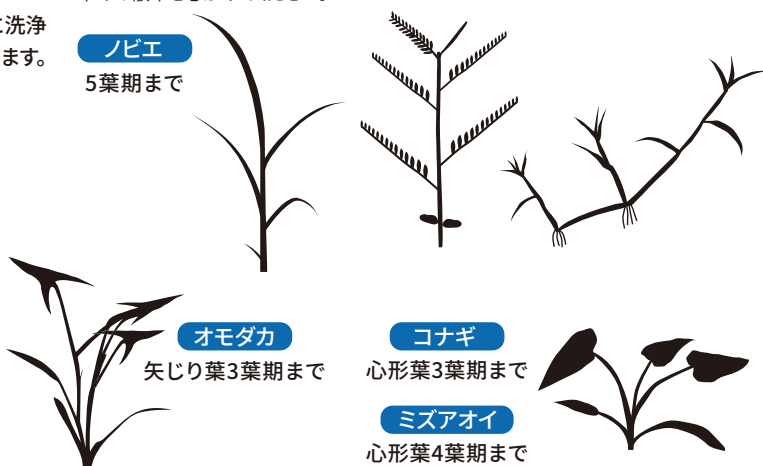
■主な雑草の防除目安

早めの散布を心がけてください。

クサネム
約50cmまで

イボクサ
約50cmまで

ノビエ
5葉期まで



オモダカ
矢じり葉3葉期まで

コナギ
心形葉3葉期まで

ミズアオイ
心形葉4葉期まで

- 本剤はその殺草特性から、いくさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用の場合は、十分注意してください。
- 本剤散布後の田面水を他作物に湛水しないでください。
- 散布機、ホース、ノズル、タンク等の器具は、使用後速やかに十分に洗浄し、洗浄液は河川等に流さず、環境に影響をあたえないよう適切に処理してください。
- 空瓶等は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないよう注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用してください。特に初めて使用する場合や異常気象時は、病虫害防除等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

⚠ 安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 危険物第4類第三石油類(水溶性液体)に該当するため、火気には十分注意してください。
- 火気や直射日光をさけ、食品と区別して、低温で子供の手のとどかない場所に密栓して保管してください。

●使用前には、ラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ●空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。 ●防除日誌を記帳しましょう。

本資料は2021年1月現在の知見に基づき、作成されています。